

常識に100%とらわれない冒険と探究 違いを生み出し続ける 自由なデザイン

100percent

100percent(品川区西品川、坪井信邦社長、03・5759・6747)は「モノ作り」とその卸売業を事業としている。創業以来常に冒険・心と探究心を持ち、誰かに要求されたものではない、自由な「モノ作り」をしている。

結露現象を逆手に

とってテーパークロスを桜模様にする「サクラサクグラス」、折り紙をモチーフに形状を記憶させたポリエステル素材の眼鏡クリーナー「Peti Peto」、最新の3Dレーザー技術を用いてドットやストラップ柄を刻んだカトラリー、19世紀の天気予測器をイメージしたしずく型のオブジェ「Tempo Drop」、星形パネルのフットサルボール……同社スタッフですら戸惑うような、古今東西入り交じって一見荒唐無稽な商品展開。しかし、そこに貫かれた「モノ作り」に対する想いは、むしろ純粋で潔い。

永い時間をかけて、職人や協力企業・製造工場とともに、過去存



同社物流拠点に併設した実店舗「Mission Bay」

在しなかった技術や製造方法の開発に挑戦しつつも、未だ商品化できていない数多のモノ。すべて、ひとつの商品が背負う価値である。デザインする人、つくる人、得る人、使う人、贈る人……同社のモノ作りに関わったあらゆる人間と、善し悪しでも勝ち負けでもない、何ものにも変え難いその付加価値を求め、生み出し、共有し続けたいと望む。坪井社長は「いつの日か、『やっぱり 100percent』と言っていたために、スタッフ一同これからも日々励んでまいります」と熱く語る。

一昨年、静岡県沼津市に設けた初の実店舗「Mission Bay」は、社員とお客様がモノ本来の価値を、体感・共感“できる空間”となっている。商品に興味をお持ちの方は、ぜひ同社ホームページ(www.100percent.com)で詳細をご覧ください。



「Peti Peto」



「サクラサクグラス」